

2025 年 10 月 27 日

各 位

株式会社ゴールドクレスト

常務取締役 伊藤 正樹

(問合せ先：管理部／TEL. 03-3516-7111)

当社代表取締役に対する訴訟について

当社代表取締役である安川秀俊（以下、安川）に対して株式会社ストラテジックキャピタル（以下、SC 社）が提起した訴訟について、一部からお問い合わせをいただいておりますので、下記のとおりご説明いたします。

SC 社は、安川がかつて個人で間接的に 100%株式を保有していた会社（以下、A 社）で用地を取得し、マンション（以下、B マンション）を建設・分譲した行為について、当社の取締役会を経ずに実施したものであり、当社に損害を与えたなどと主張しています。

しかしながら、そのような事実は一切ございません。

A 社による B マンションの建設・分譲は、当社の取締役会（安川を除いた取締役全員が出席）において事前に審議・承認のうえに進められたものです。また、この建設・分譲で当社に損害が生じた事実もなく、むしろ、当社は A 社から B マンションの販売代理業務を受託することで、事業採算性や販売不振等のリスクを負うことなく、十分な利益を得ております。

対象となった用地の土地情報を入手した 2020 年秋頃は、当該用地のように最寄り駅から遠い多くのマンションの販売が苦戦しており、そのうえ、コロナ禍で景気の先行きが不透明なこともあったため、当社が自ら取得して開発を行った場合には、当社で定めている基準利益率を確保できないであろうと判断し、自社開発を見送ったものでした。

また、当該用地は、当社が注力していた基幹物件のマンションの近接エリアにあり、当社の競合他社が同地を取得・開発した場合には、当社の基幹物件のマンションと競合し、その販売活動に悪影響を及ぼすリスクがありましたが、B マンションは当社の基幹物件より坪単価の低い下位の設備・仕様として当社の基幹物件とは競合しないものとなっており、こうしたリスクがないものでした。

このように、A 社による B マンションの建設・分譲は、安川が個人的利益を優先したのではなく、当社の企業価値と利益の最大化の観点から適切に判断・実施されたものですので、不十分な情報をもとに誤解をなさないようお願いいたします。

以上